

家庭訪問

にご協力ありがとうございました。

1年生は家庭訪問を実施いたしました。学校の都合に合わせ時間を調整していただいたことに感謝申し上げます。

日本中の学校が教育課程を改革していく中、家庭訪問実施の是非についてもその改革検討の対象となってきています。本校においても、数年前までは全学年で実施していたものがその教育的意義とかける時間とのバランスを考え、1年生のみの実施になったという経緯があります。

よく「教職員の働き方改革」といわれますが、これはただ単に教職員の働いている時間を減らすということではなく、業務全般の内容、取り組み方を工夫していくことにより、限られた時間の中で生徒と向き合う時間を十分に確保することと、教職員の日々の生活の質や人生を豊かにし、心身ともに健康な状態で職務を遂行できるようにすることが大きな目的となっています。つまり教育の質を向上させるということになります。家庭訪問だけでなく、その他の行事や部活動もその検討対象として、今後全国的な規模で改革が進んでいきます。

丁寧に、そして時間をかけて多くのことをやればそれだけ教育的効果が上がるのは当然ですが、このようなことから今後コロナ禍が収束に向かい始め、学校教育も正常化の方向へ向かい始めても、すべてがコロナ禍以前の状況には戻らないということをご理解いただきたいと思います。

【ある朝の風景】 4月14日のブログより

朝の8:10。登校した系の生徒が職員室に寄って担任の先生に声を掛けます。

正門まで登校の様子を見に行こうと職員玄関に出てみると、靴がきれいに並べられています。その系の生徒の靴です。あたりまえのことのように、そう簡単にはできません。これも大楠中学校の教育の成果の一つ、ご家庭での教育の賜物だと思います。

こんなに小さなことでもあたりまえと思わず、見つけては適切に評価をしてあげることが自己有用感を育むことにつながります。



きれいに並んでいる靴

【授業中の短いチャイム】 4月22日のブログより



本校では授業の途中で短い時間チャイムが鳴ります。「ピンポン」。はじめは授業中に何かと思いましたが、全教室が一斉に換気をする合図ということがわかりました。窓は日常的に開放していますが、しっかり意識づけがなされていることが大切だと改めて感じました。

生徒の皆さんも教職員も、空気を入れ替える大切さを知識だけでなく、音でも感じ取って行動に移しています。

少しずつ感染状況も落ち着いてきました。こんな時こそ油断せずに気持ちを引き締めて行かなければなりませんね。外から帰った時のうがいや手指消毒、学校でも、教室に設置されている消毒器でこまめに消毒をしましょう。

常に換気している教室

学校教育目標

1. 自ら学び自ら考え、豊かな知識を求める生徒の育成
2. 他人を思いやり、正しく判断し自律的に行動する生徒の育成
3. たくましい体力と気力を持ち、粘り強くやり抜く生徒の育成
4. 勤労を尊び、協力して実践活動のできる生徒の育成